

体験・見学について

見学や体験プログラムはお客様のスケジュールに合わせ、ご提案させていただきます。
日時や内容など、ご希望がございましたらお気軽にご相談ください。団体様でのご予約も承ります。

●体験&見学モデルプラン (参加者92名/2班編成の場合)

1班 (46名)	9:00~9:45 クラフト体験	9:45~10:15 映画(約12分) ~学芸員の話	10:15~10:45 館内自由見学	10:55~12:00 磯観察または ビーチコーミング ※潮が満ちている 時はできません。	12:00~ お弁当
	9:00~9:30 映画(約12分) ~学芸員の話	9:30~10:00 館内自由見学	10:00~10:45 クラフト体験		
2班 (46名)					

※上記プランは一例です。



詳しくは、海の博物館HPをご覧ください。
<http://www.umihaku.com>

★車イスの貸出しあります
お気軽に、スタッフまでお声
かけください。

★お弁当も食べることができます
天気が良ければ、敷地内の各所
でお弁当を食べることができます。
※雨の場合は映像ホールや体験学習館
をご利用ください

インフォメーション

開館時間 9:00~17:00 (季節により変動あり)

※船の収蔵庫の見学は16:00までです。
※入館は閉館の30分前までをお願いします。

休館日 6月26日~6月30日・12月26日~12月30日

入館料	大人(18才以上)		学 生
	個人	800円	
団体(20~99名)	720円	320円	
団体(100名以上)	640円	280円	

※手帳を提示された場合、障害者割引があります。

駐車場 大型バス・乗用車とも、無料

交通のご案内

●電車の場合

JR・近鉄鳥羽駅より、パールロード経由のかもめ
バスで35分。「海の博物館前」下車すぐ。
※バスの本数が少ないため、事前にお確かめ下さい。

●自動車の場合

伊勢自動車道伊勢西ICから伊勢二見鳥羽ラインを
經由しパールロード沿い40分



近隣施設 鳥羽展望台(車で5分)、鳥羽水族館(車で20分)、
志摩スペイン村(車で30分)、伊勢神宮(車で50分)



鳥羽市立 海の博物館

〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉1731-68

TEL 0599-32-6006 FAX 0599-32-5581

URL <http://www.umihaku.com>

鳥羽市立 海の博物館

TOBA SEA-FOLK MUSEUM

学生団体向けパンフレット

鳥羽市立海の博物館について

海の博物館は、昭和46年(1971)、漁師さんをはじめとする海に生きた先人たちの知恵や歴史・文化を後世に伝える博物館として、三重県鳥羽市に誕生しました。

昭和60年(1985)、収蔵する漁撈用具など6,879点が、「伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具」として国の重要有形民俗文化財となりました。

開館以来、海の博物館が収集した漁撈用具や漁村の信仰・生活用具などの実物資料の数は60,000点を超えています。広い敷地には木造空間が広がる展示棟、資料保存の工夫がいっぱいの収蔵庫、海に関する体験ができる学習館など、8棟の建物が並んでいます。



展示について

展示は、「海民の伝統」「海の汚染」「海民の信仰と祭り」「伊勢湾の漁」「志摩半島・熊野灘の漁」「鳥羽・志摩の海女」「木造船と航海」と各テーマに分かれています。博物館近くの白浜遺跡から発掘された弥生時代の漁具、昭和中頃まで使われていた手作りの漁具など2,000点を超える実物資料が展示されています。展示や映像、学芸員の説明から、海女漁、カツオ漁、イセエビ漁、定置網漁、カキ養殖業などの三重県内で行われている水産業について理解を深めてもらえます。

特別に見学できる船の収蔵庫には、木造船が80隻以上保管されており、丸木舟から始まる船の発達もみることができます。

子どもたちには、中に入れる潜水艇や海女小屋、三重沿岸で食べられてきた魚をレプリカで紹介した昔の魚屋さん、一寸法師のモデルになった竹で編んだ船などが人気です。



海博の海洋教育とは

海難れがすすむ昨今、国は「海洋基本法」の成立で、2013年の海洋基本計画改訂により「海洋教育」を小中学校の学校教育の中でも推進していく方針を決定しました。

海の博物館では、開館当初より子どもたちが海に関心を持ち、環境を守る意識を育んでもらうための海洋教育を博物館活動の重要な柱としてきました。

海に触れることで、子どもたちは未知の体験をし、海から多様な感動を得ることができるはずです。

海の博物館はこれまで、東京大学海洋教育促進研究センターと協定を結び、地域制や特色を活かしたカリキュラムの共同開発や、拠点間のネットワーク形成による、実践交流や情報交換などはかっており、今後も海洋教育のよりよいあり方を探究していきます。



海の博物館での活動

小中学校の社会見学や修学旅行などでは、知識豊富なスタッフが、施設展示を案内しながら、わかりやすく子どもたちにご説明します。内容のご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

映像観賞

映像ホール
(収容人数 90名)



『鳥羽志摩の漁法』(約12分)

鳥羽志摩の海でおこなわれている漁業について、魚をとる方法やとる道具、漁の決まりごとなどを紹介しています。

『志摩の海女』(約10分)

志摩半島で盛んな海女漁、海女漁の歴史や海女さんたちがどのようにアワビをとっているか紹介しています。

『津波の映像』(約10分)

2011年の東日本大震災で撮影された津波の映像です。

学芸員によるお話

★低学年(1・2年生)の生徒さんにも、ご希望にそってお話やご案内をさせていただきます。

小学校
中学年向け
(3・4年生)

『昔の道具と人々の暮らし』

洗濯板や火鉢、湯たんぽやアイロンなど昭和の時代に使っていた道具を触ったり、使ってみることができます。

『津波の話』

津波のメカニズムや恐ろしさ、津波が起きた時はどうするかなど、津波から身を守る方法をみんなで考えます。

★ほか 『地球の海と鳥羽の海の話』



小学校
高学年向け
(5・6年生)



『海の環境の話』

今話題となっているマイクロプラスチックや磯焼け、漂着ゴミなど、海の環境について一緒に考えます。

『漁業・水産業の話』

昔から受け継がれている漁法や、現代の漁業など、漁師さん、海女さんの知恵や工夫を学びます。

『海女さんについて』

日本一海女さんが多い鳥羽市。海女の歴史を勉強したり、実際の道具を見学しながら、海女さんについて学びましょう。

★ほか 『津波の話』『魚食の話』『地球の海と鳥羽の海の話』



“海女”について



“海女”とは、素潜りでアワビ、サザエや海藻をとる漁をする女性のことです。鳥羽市と志摩市には約660人(2017年12月 海の博物館調査による)で全国の約半数の海女がいます。海の博物館では、約3,000年以上続く海女の歴史や、海女が使う道具類、海女の漁獲物などについて紹介しています。海女の資料については日本一を誇ります。2018年3月には三重大学海女研究センターが設置されました。



セーマン(☆)とドーマン(■)
海女さんが海の危険から身を守るために身につける魔よけの印だよ

フィールドワーク 海の生き物や環境問題について考えよう!

観察会に行くときの注意事項

- 生き物の観察や、漂着物観察は、干潮時(潮がひいた時間帯)にのみ実施できます。
- 生きものを捕まえますが、観察した後はかならず海に逃がしてあげてください。
- 浜にトイレはありません。出発前に博物館でトイレに行ってください。
- 万が一、海辺で地震の揺れを感じたら、スタッフの指示に従い、すぐに高い場所へ避難してください。
- 持ち物…タオル、汚れてもよいかかとのある靴(サンダル不可)。夏場は、帽子、水筒。



アマモ場の生きもの観察

参加費 1人300円
所要時間 1時間
場 所 博物館から徒歩5分

海草のアマモが生い茂る場所は、魚の稚魚の成育場です。潮がひいた時にアマモ場に行き、スズキやメバルの稚魚や世界一小さいイカのヒメイカ、ヨウジウオやイカの卵など観察します。

*クラフト体験も実施していただくとお1人様100円になります



磯の生きもの観察

参加費 1人300円
所要時間 1時間
場 所 博物館から徒歩15分

潮がひいた時、磯に出ると自然のタイドプールがあらわれます。そこでは小魚やヤドカリ、ウミウシやカニ、また岩にくっついている多くの生きものと出会えます。

*クラフト体験も実施していただくとお1人様100円になります

その他の体験 雨の場合対応

カツオ節削り体験

材料費 1人100円
所要時間 30分~ *人数による

和食にはかかせないダシ、そのダシは昔からカツオ節からとっていました。昔ながらのカツオ節削り器を使って、削って、食べてみよう!



収蔵庫見学

所要時間 30分

普段公開していない収蔵庫をスタッフと一緒に見学します。収蔵庫にはどのような資料が入っていて、どのように保存されているのでしょうか?昔のなつかしい道具類もあります。



ビーチコーミング 漂着物を拾って、海の問題について考えよう

参加費 1人300円
所要時間 1時間
場 所 博物館から徒歩15分

海が荒れた後、海辺に出かけると多くの漂着物を見つけることができます。漂着物には自然物(流木、貝殻、海藻類など)と人工物(プラスチック類、ガラス、缶など)があり、これらを観察することで、海辺の自然環境の現状を知ることができます。

*漂着物で標本作りをする場合 参加費+材料 800円
所要時間 3時間

津波の碑を見学しよう

参加費 1人100円
所要時間 1時間
場 所 博物館からバスで5分

鳥羽市浦村町の今浦と本浦には、嘉永7年(1854)におこった大津波のことを記録した「大津浪塩先地の碑」と「津波の碑」が建っています。その碑の建っている場所へ出かけ、津波について学びます。

海のクラブ体験 世界で一つだけの作品を作ろう!



- 体験学習室は1回に約60人体験することができます。
- 人数が多い場合は、2班に分かれていただき、入れ替えて体験することができます。(入れ替えには15分ほどかかります) ※体験・見学モデルプラン参照
- 体験、見学のスケジュールはできるだけご要望にお応えいたします。お気軽にお問合せください。



海女が伝える不思議を体験 貝紫染め

材料費 700円(コースター1枚制作)
所要時間 30分~50分

巻貝の黄色い体液を取り出し、型紙を選んで布に染めつけます。太陽の紫外線にあてると黄色がなんと!紫色に変わります。海女さんたちはこの染色法を使って魔よけの印を描いていました。



鳥羽の海藻でカラフルアート 海藻おしば

材料費 500円(ハガキ・シオリ各1枚制作)
所要時間 30分~50分

鳥羽で採取できるカラフルな海藻約15種類を使って、海藻のもつ美しい色と形を活かしてハガキやシオリのデザインを考えます。作品は乾燥させ、ラミネートをし、後日郵送します。



貝がいろいろ大変身! 海のマグネット

材料費 500円(2個制作) 所要時間 30分~50分

貝殻や貝素材のボタン、シーグラスを使って、3.5cm角の台紙の上に生きものや模様を考え、デザインが決まったら接着剤で固定します。台紙の裏にはマグネットが付いているので、冷蔵庫などにくっつけて使えます。



小さな海をプロデュース ジェルキャンドル

材料費 700円(1個制作) 所要時間 30分~40分

ガラスの底に砂をしきつめ、貝殻やサンゴを並べます。透明のジェルを流し込み、固まったら2層目にも貝などを並べます。最後に色付きのジェルを入れ、自分だけの海の世界ができあがり!



今日からあなたも貝博士! 貝の標本作り

材料費 700円(1箱制作) 所要時間 40分~60分

貝の名前をどれだけ知っていますか? 15種類以上ある貝殻の中から好きな貝を選び、図鑑で名前を調べて、標本に仕上げます。



組み合わせ無限! 貝殻のストラップ

材料費 700円(1個制作) 所要時間 30分~50分

貝殻とビーズを組み合わせ、世界で一つだけのストラップを作ります。ねじったり、輪を作ったり、少しの工夫でいろいろなデザインができます。

自然いっぱい 生きものいっぱい **おぎっ 大吉半島!**



アマモ場って?

海草のアマモやコアマモによって構成される藻場をいいます。アマモ場は伊勢湾南部から鳥羽、英虞湾内に残っており、魚やイカなどの産卵場、また卵からかえった幼稚子の保育場、成育場となっています。いまこの「アマモ場」は50年前の100分の1にまで減少してしまいました。博物館では鳥羽市、漁業者、学校と協力し、「アマモ場」を増やす取り組みをおこなっています。



磯やアマモ場で見られる 生きものたち

海の博物館 館内図

